

# あさがお通信

vol.9  
AUG. 2012

- 新任医師紹介
- 台東病院周辺から東京スカイツリーが見えます!
- 当院・施設のお食事紹介
- 地域交流活動日記⑩  
地元の熱気をいただきました!



## 医療における信頼関係

台東病院・老健千束では、開院以来、周辺の医療機関の先生方からご紹介を受けたり、地域の皆さんに利用していただくことでいろいろなつながりができ、徐々に施設の役割がはっきりしてきたように思います。

当施設では、地域の多くのご高齢の方に医療・介護サービスを提供していますが、とりわけ、認知症や脳卒中後遺症など容易には改善が望めない患者さんや、末期がん、多臓器不全など、積極的な治療よりもむしろ終末期の療養をお手伝いする患者さんが、数多くいらっしゃいます。

ご高齢の、また病状の不安定な患者さんにおいては、予期せぬ事象が起こることもしばしばです。食事中にも詰まったり肺炎を起こしてしまったり、リハビリ中に転倒してまた骨折してしまったり、突然の高熱で敗血症を起こしショック状態に陥ってしまった、等々。治療やケアが不適切ではなかったにもかかわらず、突然思わしくない状況の変化を受け止めることができず、その矛



先がわれわれのサービスに向けられることもあります。「施設内なのにどうして防げなかったのか」「そんな経過になると説明はあらかじめ受けていない」等々。得てして、われわれ医療者と患者さんのご家族とが十分にコミュニケーションをとれていない場合に、そんな不信が生まれるように思います。

今春から施設内で終末期の看取りを振り返るカンファレンスを始めました。誰もが望んで迎えるわけではない最期、誰にとっても思わしくない結果である死というもの、いかに穏やかにかつ厳かに迎えることができるのか。納得できる看取りを実現するためには、ご本人とご家族、そしてわれわれ医療者との信頼関係が不可欠です。

そのためには、当施設において、ケアの質の向上と医療安全の確保に対する日々の精進が欠かせないことは言うまでもありませんが、同時に台東区という地域の中で、住民、医療関係者の皆さんと、節度ある、お互いをわきま

管理者・病院長 山田隆司

## 地域公開行事予定

- ミニコンサート (13:30 ~ 14:00)**  
8月22日(水) 「いつも心に太陽を  
~歌とともに~」  
ミュージカル女優 安達星来
- 9月15日(土) 敬老の日記念  
台東区立富士小学校  
吹奏楽コンサート
- 待合健康教室 (11:30 ~ 12:00)**  
9月12日(水) 「フットケアの重要性」  
日本フットケア協会 講師  
及川卓史

※地域公開行事の詳細はエントランスホールに掲示いたします

## 看護・介護職員募集

高齢者に寄り添い、人生を物語る  
優しいスタッフを募集いたします。

あなたのワークライフバランスに  
配慮した勤務も可能です。  
ご相談・見学を随時実施中ですので、  
下記までお気軽にご連絡ください。

- 連絡先：  
台東区立台東病院  
副病院長 看護・介護部統括部長 川合  
総務課 若林 まで
- 電話：03-3876-1001
- メールアドレス：taito@jadecom.or.jp



「あさがお通信」は院内の各部署が編集を担当していきます

今号は「地域連携相談室」が担当しました。

今回の「あさがお通信」は地域連携相談室が担当いたしました。

自宅で介護する方にとって、夏場は気温・湿度の管理が深刻な問題であることを、日々のご相談から感じます。節電も大切ですが、療養環境の設定・維持も重要。快適で過ごしやすい季節が早く訪れますように…。



台東病院・老健千束は「公益社団法人地域医療振興協会」の管理運営施設です。

地域医療振興協会は、地域医療を取り巻くさまざまな問題を解決し、へき地を中心とした地域保健医療の調査研究および地域医学知識の啓発と普及を行うことを目的に開設され、2009年12月1日より公益社団法人として新たにスタートしました。地域医療に対する意欲と実績を持つ医師を中心に、つねに地域保健医療の確保と質の向上など住民福祉の増進を図り、地域間での医療の不均衡の解消、地域の振興を推進しています。

## あさがお通信

発行元：台東区立台東病院・台東区立老人保健施設 千束  
〒111-0031 東京都台東区千束3丁目20番5号 / TEL 03-3876-1001

## 当院・施設のお食事紹介

こんにちは、栄養室です。当院・施設では毎月行事食の提供をしております。今回は5月の「端午の節句」、7月の「納涼祭」の行事食を紹介します。

「端午の節句」では「エビピラフ、オムレツ、温野菜サラダ、ベジタブルスープ、フルーツポンチ」を、「納涼祭」では「紅白重ねしんじょう、卵巻き蒸し、かぶの詰め物、茄子の揚げ浸し、ご飯、お吸い物」をお出ししました。

行事食ではいつもと違う特別な雰囲気を演出できるよう、陶磁器の食器を使用するなど、ひと工夫に努めています。患者さん・利用者さんにお食事を通して日本の四季を楽しんでいただきたい……一皿一皿に心を込めたお食事づくりに日々取り組んでおります。



端午の節句・昼食



納涼祭・昼食

### 今後の行事食予定表

- 8月 処暑
- 9月 敬老の日、秋分の日
- 10月 体育の日
- 11月 文化の日
- 12月 冬至、クリスマス、大みそか

## シリーズ 地域交流活動日記

No. 10

### 【地元の熱気をいただきました!】



三社祭で神輿を担ぎました

祭が盛んな台東区。震災直後だった昨年は三社祭をはじめ自粛が相次ぎましたが、今年にも各所で盛大に執り行われています。天候にも恵まれた5月の週末、老若男女に受け継がれるその熱気と心意気を今年もおすそ分けいただきました。

吉原神社例大祭では千吉町会から、千束稻荷神社例大祭では大鳥町会から、それぞれ子供神輿が施設内に登場。急性期病棟を除く全フロア、そしてエントランスホールをにぎやかに練り歩いてくださいました。ちよっぴり恥ずかしそうな子供神輿に「かわいらしいねえ」と目を細める患者さんや利用者さん。逆に熱いエネルギーを送っていました。

斎行700年にあたる三社祭には台東病院・老健千束からも千和町会にまじって神輿に参加させていただきました。医師や看護師のほか、さまざまな部門の職員がいつもの白衣・制服から半纏に着替え、気分は上々! ……のはずでしたが、やはり地元の勢いに圧倒されます。想像以上に重い神輿に普段の運動不足が悔やまれました(笑)。来年もまたよろしく願いいたします!!



子供神輿が施設に登場!

● 三社祭ってなんだろう? ●  
今から千三百年以上前、隅田川で漁をしていた兄弟、檜前浜成・檜前竹成が引き揚げた網から一体の像を発見。土地の文化人であった土師中知によって有り難い観音像だということに分かり、それをお祀りしたのが浅草寺。観音像を発見した兄弟、土師中知の三人を神様、すなわち三社としてお祀りしているのが浅草神社。その最も重要な祭礼としてあるのが三社祭なんだそう。

三人を祀った之宮から三之宮までの本社神輿二体と、氏子である各町会の神輿とが各所を練り歩くこの祭の期間は、区内さまざまな方角から掛け声が聞こえてきます。担ぎ手と見物人とで熱気に包まれる三社祭、老いも若きも遺伝に組み込まれた熱いアイデンティティに今後も期待しています!

# 新任医師紹介

- アンケート
- ①専門分野
  - ②これまでの主な赴任先
  - ③診療時のモットー
  - ④趣味・気分転換の方法など
  - ⑤日常生活で気をつけていること
  - ⑥患者さん・利用者さんへのメッセージ

新年度を迎えて診療の体制も新しくなりました。今号では、4月から新しく着任した総合診療科とリハビリテーション科の先生方のご紹介、そして整形外科の先生からの熱いメッセージを掲載します。ふだんは分からない先生の意外な一面が発見できるかも!?

## リハビリテーション科

### 高橋 洋 医師

- ①リハビリテーション  
特に地域でのリハビリテーションに興味があります。
- ②急性期病院を中心に保健所、大阪府庁、障害者施設など直近は東京北社会保険病院
- ③患者さんの日常活動（ADL）回復のために医学、工学、法律、福祉など広い視点で考える。  
患者さんにリハビリテーションを行う根拠と方法、期間を説明する。
- ④鉄道の旅（ローカル線、新幹線、地下鉄、路面電車、何でも好きです）  
駅弁食べ歩き（最近では駅近くの美味しい物も食べ歩いています）
- ⑤身体的・精神的疲労をためないよう、休みをきちんと取ることで体重を増やさないこと（食べるのが好きなので、一日一万歩歩くようにしています）
- ⑥リハビリテーションは患者さん、ご家族、医師、看護師、リハスタッフ、ワーカーみんなの力で作り上げる医療です。困った時は一人で悩まずにご相談下さい。お待ちしております。



### 三澤 仁 医師

- ①総合診療
- ②東京北社会保険病院、東京ベイ・浦安市川医療センター
- ③全人的医療
- ④旅行
- ⑤ストレスをためない
- ⑥日常でストレスをためないことが重要ではないでしょうか。



### 堀田 紗代 医師

- ①総合診療、外科
- ②昭和大学小児外科
- ③患者さんの話をできるだけよく聴くこと
- ④ソフトテニス
- ⑤野菜をよく摂ること
- ⑥台東病院は患者さん、利用者さんのことをよく考えるいい施設だと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



### 片見 厚夫 医師

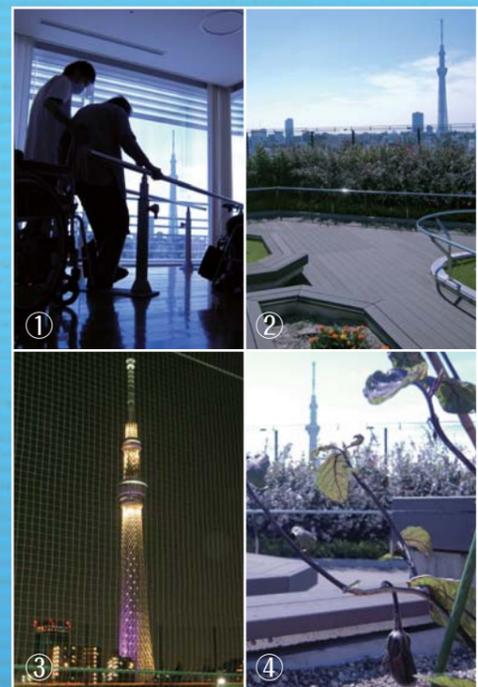
- ①消化器、一般外科
- ②東京ベイ・浦安市川医療センター（浦安市川市民病院）、江東病院、済生会川口総合病院等
- ③患者さんには謙虚に
- ④散歩・クラシック音楽鑑賞
- ⑤早寝早起き
- ⑥よろしくお願いいたします。



## 総合診療科

### 住田 俊和 医師

- ①一般内科、総合診療
- ②国立東京医療センター
- ③患者さんの訴える症状を大事にして診療にあたっていようころがけています。
- ④スポーツ
- ⑤野菜を食べる
- ⑥来院された皆さんのお役に立てるよう精進していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



## 台東病院周辺から東京スカイツリーが見えます!

平成24年5月22日、多くの人が期待を寄せる東京の新たなシンボル、東京スカイツリーが開業しました。都心に高層ビルが次々と増えたことによる電波障害を解消するために建設されましたが、東東京エリアの新たな交流、観光、産業拠点としても重要な役割を担っています。高さ634メートル、自立式電波塔としては世界一の高さを誇ります。

台東区にはスカイツリーを眺めるのに絶好のスポットがたくさんありますが、台東病院や周辺からもいろいろな表情のスカイツリーが楽しめます。

さて、クイズです。これらの写真はいったいどこから撮影したのでしょうか?

① 台東病院から  
② 台東区民会館から  
③ 台東区民会館から  
④ 台東区民会館から

## 整形外科からメッセージ

# 「台東病院の整形外科が考えていること」

台東病院の整形外科が考えていること…、2つあります。

1. 地域の人の“痛み”に応えること
2. 専門性の高い、人格も兼ね備えた医師が高度な治療を提供すること

台東病院の理念“「ずっとこのまちで暮らし続けたい」を応援します”にもあるように“台東地区の方々のための医療”を整形外科チームも推進します。

まず重要なことは“コミュニケーション”であると考えます。患者さんと医師とのコミュニケーションはもちろんのこと、私たち

医師をサポートしてくれる看護師、技師、事務などスタッフとのコミュニケーション、他の科の医師とのコミュニケーション、地域のクリニック、接骨院、鍼灸院の先生方とのコミュニケーション、これらさまざまなコミュニケーションを大事に診療にあたることを整形外科チーム全員が意識しています。

整形外科は首から下のすべての骨、関節、筋肉、腱、神経などとても広い範囲を診る科です。打撲や切り傷など一般的なケガや病気はどのような医師でも問題なく診療できると思いますが、首や腰の神経の病気、ひざや手、指の特殊なケガなど、場合によっては特殊な技

術を必要とすることもあります。整形外科の中でもそれぞれの部位の専門の医師であればこそ、患者さんは安心して治療を受けることができるかと確信しています。

当院では各部位それぞれを得意とする医師がどのような患者さんにも対応できるように準備しています。

また、医療において患者さんとの信頼関係はとても大事です。医療は万能ではありません。究極的には、病気が治らなくても、痛みが残っても、患者さんに“あの先生に診てもらってよかった!”と納得してもらえるような医療こそが重要だと考えます。そのためには技術

が高いだけでは意味がありません。医師には変人が多いと感じておりますが（自分もそうかもしれませんが…）、当院の整形外科には人格的に患者さん目線で考えられる医師がそろっています。

“病院”というと、なんとなく敷居が高いイメージもあるかもしれませんが、そのイメージを覆えるように尽力していく所存です。病院のスタッフも非常に懐深いので、私たちが目指す医療を展開するのにとても良い環境だと感じています。皆さま、どうぞご期待!

整形外科 磐田振一郎

## 整形外科医師の専門分野

- 月：市川理一郎 → 股関節、小児整形外科  
磐田振一郎 → ひざ
- 火：磐田振一郎 → ひざ  
金子大毅 → ひざ
- 水：金子大毅 → ひざ  
川北敦夫 → 整形外科全般、手、肘、肩  
西田匡宏 → 救急医学
- 木：辻 崇 → 脊椎(首、腰)  
福田健太郎 → 脊椎(首、腰)
- 金：岩波明生 → 脊椎(首、腰)  
小林秀 → ひざ



市川理一郎 医師



磐田振一郎 医師



金子大毅 医師



川北敦夫 医師



西田匡宏 医師



辻 崇 医師



小林 秀 医師